

つどう まなぶ むすぶ

よろこび

2019年9月号(No.22)

CONTENTS

- ② 第13回て〜ら祭
- ② おもてなしうちわづくり参加者募集
- ② オリンピック・パラリンピックブース紹介
(鉢形公民館・三笠公民館)
- ③ 市民センのひろば ほか
- ③ 地域レポート・まちづくり探検隊
鉢形地区「鉢形かるた制作・活用事業」
- ④ INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「和紙絵画作家 江尻 志奈子さん」



かしま雑樂習塾
「パンアラワー」

琉球三線同好会

鹿嶋物語を語る会

かしま雑樂習塾
「日本神話と古代史の謎」

かしま雑樂習塾
「一からやり直したい人のための英語教室」

第13回 て〜ら祭

～令和だ!オリンピックだ!て〜ら祭だ!～

目的

まちづくり市民センターに集う人たちの『出会いと絆』づくり、日頃の活動の発表の機会として開催し、「交流の喜び」を共有します。

開催日

11月2日(土) 9:30～15:30
3日(日) 9:30～15:00

会場

まちづくり市民センター
及び体育館

催し物

ステージ発表、体験、作品展示、
模擬店、スタンプラリー抽選会



問合せ

鹿嶋市まちづくり
市民センター
Tel.83-1551

和紙で彩るおもてなし うちわづくり参加者募集



無地のうちわに和紙のちぎり絵を描き、東京2020オリンピックで鹿嶋市に來訪される方へ配布します。一緒に“おもてなしうちわ”を作ってみませんか?

	日 程	時 間	会 場
①	R1/10/13(日)	10時～12時	鹿島公民館
②	R1/11/16(土)	10時～12時	はまなす公民館
③	R1/11/24(日)	10時～12時	平井公民館
④	R1/12/8(日)	10時～12時	大野公民館
⑤	R1/12/15(日)	10時～12時	豊津公民館
⑥	R2/ 1/11(土)	13時半～15時半	豊郷公民館
⑦	R2/ 1/18(土)	10時～12時	高松公民館
⑧	R2/ 2/ 8(土)	13時半～15時半	鉢形公民館
⑨	R2/ 2/15(土)	10時～12時	波野公民館
⑩	R2/ 3/ 7(土)	10時～12時	三笠公民館

【受 講 料】300円※持ち帰り用うちわの材料費
【対 象】市内在住・在勤・在学者 【募集締切】10月8日(火)
【定 員】各15名
【申込方法】下記窓口で直接申込みか、TEL又はFAX
(氏名・性別・年齢・住所・電話番号を記載)で申込み。
【申 込 先】鹿嶋市まちづくり市民センター
TEL.83-1551 / FAX.83-1553
(受付時間 9時～17時 ※月曜休館)

オリンピック・パラリンピックブース紹介

鉢形公民館

館内に入ると世界各国の国旗の絵が飾られています。これは子ども達で作成したもので、裏面には作成者の手形がついています。また、公民館利用者の方々に写真撮影にご協力いただき、作成された缶バッジも展示されています。



▲缶バッジコーナーを作成中



▲子ども達の作成風景



▲鉢形公民館内の様子

三笠公民館



◀本田さんデザイン「サッカーボール要石」

風等の展示物はすべて三笠地区まちづくり委員会の本田さんをはじめとする三笠地区の人たちによる作品。本田さんデザインの三笠オリジナルキャラクター「サッカーボール要石」には2020年のオリンピックで地震が起きないようにという願いがこめられています。
※要石…地中深くまで埋まっている石で地震を起こすナマズの頭を押さえていると古くから伝えられています。

利用しています!!

市民センのひろば



鹿嶋市六点会 代表
吉良 久子さん(荒野)

私達‘鹿嶋市六点会’は点字の学習をとおして視覚障害への理解を深める活動をしています。点字に興味のある方、一緒に活動しませんか？



かしま灘楽習塾の受講は2期目になります。今年度はゆったりとした音楽が流れる中、じっくりと自分の体に向き合い、楽しく学びながら癒しの時間をすごしています。

かしま灘楽習塾「骨盤調整ストレッチ」受講生
橋本 真子さん(厨)



日本のおどり文化協会
鹿嶋カルチャースクール講師
栗林 麗子さん(厨)

6月～12月までの期間、日本舞踊の体験教室をしています。毎回のお稽古を楽しみに生徒さん達も12月の発表会を目指して頑張ってくれています。

地域レポート

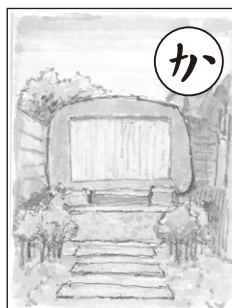


まちづくり探検隊 (vol.22)

鉢形地区

～地域への愛着を育む!～

『鉢形かるた制作・活用事業』



この取り組みは、近年の自治会加入率低下や少子高齢社会を支える活力ある地域コミュニティづくりなどの課題に対応するため、鹿嶋市共創のまちづくり事業補助金制度を活用してスタートしました。

活動の中心を担う、鉢形地域を考える会の小古井芳一会長は「地域コミュニティの課題と対応策を検討する中で、鉢形地域の特性から、住んでいる住民が地域の歴史・文化を知らないことが多いため、地域への愛着度が低いのではないか、という仮説を立てました。そして、コミュニティ活動の基盤となる“地域への愛着”を育み、“支え合い”のある地域づくりを目指す事業として、地域の歴史・文化に加えて、鉢形自慢や鉢形らしさを盛り込んだ“鉢形かるた”の制作・活用事業を企画しました」と話してくれました。

主な活動として、1つ目は、子どもから高齢者までが地域の歴史・文化を学びながら、かるたの読み札の検討。2つ目は、小学生や地元作家による絵札の原画作成。3つ目は、かるた活用事業として、かるた大会、かるたの地めぐりウォーキング大会等を開催し、地域住民の世代間交流を促進することなどが計画されています。4つ目は、地域内の関係団体と連携して推進体制を構築し、名所・史跡等の案内板設置なども含めて、継続的な地域の歴史・文化の保存・継承活動などが計画されています。

完成すると、市内の地域かるたとしては、高松かるた、豊津「親子かるた」、大野今昔かるたに次いで、4つ目の地域かるたの誕生となり、完成を待つ地域住民の大きな期待感が伝わってくる活動になっています。

掲示板

市民センター改修工事のお知らせ

まちづくり市民センターの屋根及び雨樋の大規模改修を行うことになりました。そのため、施設利用に際し、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

○施工期間 令和元年7月15日(月)～令和2年2月末日(予定)

○工事箇所 まちづくり市民センター屋根及び雨樋改修

○使用制限等

- 改修工事に伴い、施設全面に足場を設置しています。そのため、中庭の利用ができません。
- 東側駐車場に現場事務所等を設置しているため、駐車場の一部が利用できません。
- 工事の進捗状況により、受付窓口からふれあいサロンに向かう渡り廊下の使用ができなくなります。(10月予定) そのため、臨時の出入口をご利用いただくことがあります。

○問合せ

鹿嶋市まちづくり市民センター

☎83-1551 9:00～17:00 ※月曜休館

か

街道に

ひっそり佇む

義幹の墓



▲かるた制作会議の様子

記事の訂正・お詫び

6月15日発行の2019年6月号(No.21)掲示板の令和元年度市民カレッジ受講生募集記事において誤りがございました。

正しくは、第3回目講師草野マリー氏(国際交流協会会員)です。

以上のように訂正し、お詫び申し上げます。

きらり★まちづくり (vol.22)

“いま”を全力で 楽しむ人生を

和紙絵画作家

江尻 志奈子さん(宮中)



和紙絵画をはじめるきっかけ

子どもの手が離れたころ、埼玉県本庄市の公民館でちぎり絵の講座に参加しました。初めて作った作品は色紙に一輪の椿の花でした。和紙を人の手でちぎってのりで貼っていくと、不思議と和紙に命が吹き込まれ、花が生き返るように輝いてみえることにとっても感動しました。そのことがきっかけでちぎり絵の世界に夢中になりました。その後、1984年に鹿嶋市へ移住し、和紙一筋で創作活動を続け、全国各地で展覧会を行ったり、海外でも作品展示やワークショップに参加したりしながら、日本の無形文化財である手漉き和紙の魅力の普及に務めています。

四季の会と公民館活動

鹿嶋市に移住して、最初に始めたのは公民館活動です。公民館には様々な情報と人が集まり、自然と地域を知ることができ、人とつながることができるからです。そのうち、友達からちぎり絵を教えてほしいと依頼され自宅で教えていたのですが、口コミでどんどん生徒数が増え、公

民館を拠点に活動するようになりました。各地区公民館の婦人学級や親子学級等で、ちぎり絵の指導をしたり、2002 FIFAW杯では鹿嶋市で試合の行われる各国の国旗と国の花をちぎり絵で描いたうちわを300枚作成して配布したり、約35年間活動してきました。

オリンピックに向けて

2020年夏に向けて、お花や果物等をちぎり絵で描いたうちわを作成して、オリンピックで鹿嶋市に来訪される方々にお配りする予定です。日本の文化であるうちわに、和紙のちぎり絵を貼ることでより日本的なものとなります。暑い夏の中、涼を感じていただければと思いますし、お土産としても喜ばれるのではないかと思います。ちぎり絵に興味のある方はおもてないうちわづくりに参加していただき私たちと一緒におもてなしをしましょう。

今後の目標

オリンピックのおもてないうちわづくり事業を成功させることです。

今までも目の前のことに全力で取り組んできました。今のような人生は想像していませんでした。自分が経験してきた中で、自分にとってプラスになっていることを続けてきた結果、自然とちぎり絵に生かされてきました。

これから先のことはわかりませんが、日々の和紙との生活で自分の目指すものに近づいていくはずで。豊かな心を持ち、健康であること、そして何よりも楽しみながらやることを一番大切に、これからも日本の文化である素晴らしい和紙で作品を作ることによって、世界に広めていく活動を継続していくことが、私の生きがいです。



▲江尻志奈子さんの作品



▲おもてないうちわづくりの作品例



▲2019 KASHIMA文化交流フェスティバルで行われたおもてないうちわづくりワークショップの様子

PROFILE

■江尻 志奈子

公益財団法人日本和紙絵画芸術協会理事、
鹿嶋市美術連盟理事、
平野流和紙ちぎり絵師範
1984年 埼玉県本庄市から鹿嶋市へ移住
1996年 外務大臣奨励賞受賞(公募日本和紙絵画展)
文部科学大臣賞、和紙絵画大賞等受賞